

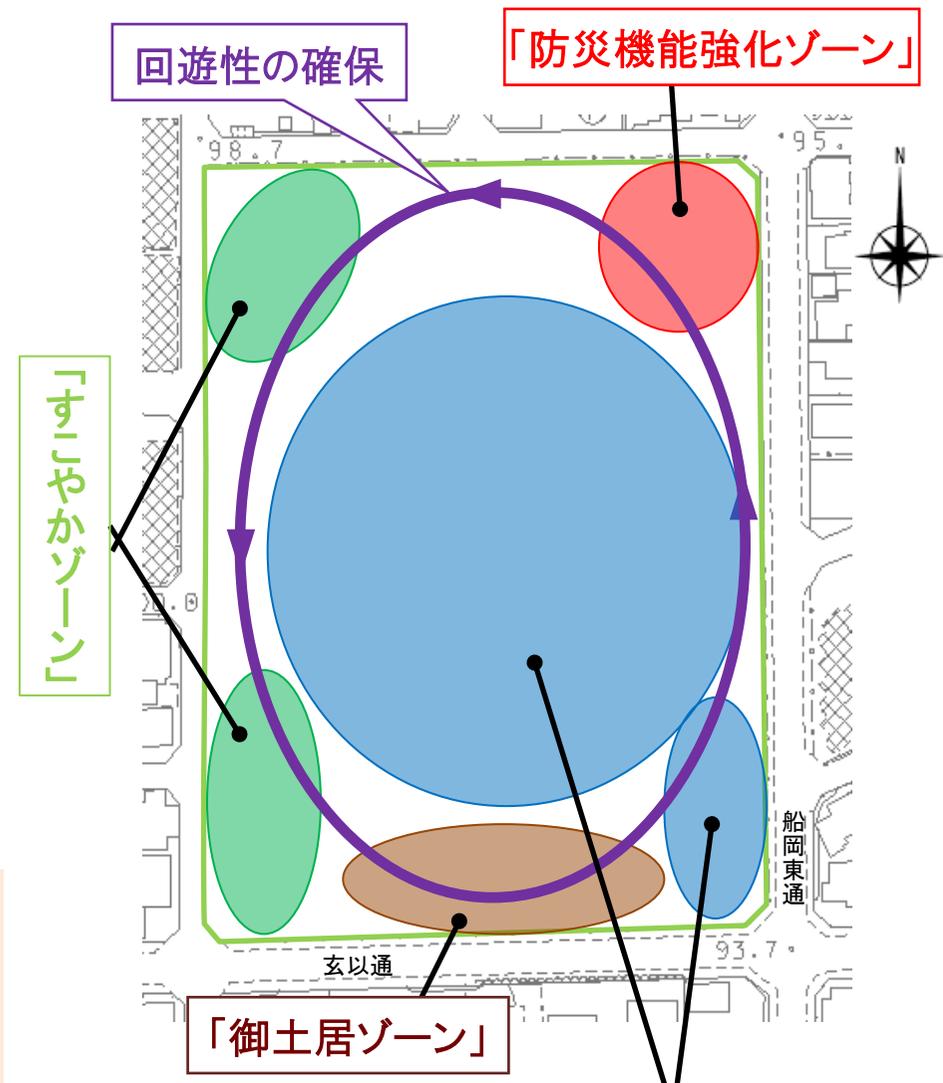
大宮交通公園におけるサイクルセンター(講習施設)の設置の検討状況

■ 整備の方向性

- 現在の交通問題に沿った自転車の安全教育を中心とした、誰もが自転車と触れ合え、安全な乗りものをいつでも楽しく学べる交通学習施設として整備。
- 民間のノウハウや活力を生かして、全国の先進モデルとなる安全教育の拠点となるよう、北消防署の移転と併せて、平成32年度末の開設を目指す。
- 平成30年3月に策定した「京都市自転車安全教育プログラム」に基づき、子供からお年寄りまでライフステージ別に教えるべき主なポイントを押さえた自転車安全教育を実施していきたい。

■ 検討状況

- 京都市都市緑化審議会（平成30年6月26日）
「大宮交通公園事業者選定部会」を設置し、整備事業者選定に係る検討を行う。
- 整備手法
Park-PFI(公募設置管理制度)を活用した民間活力による整備。



【公園中央部・南東部】 「交通学習ゾーン」

交通学習体験施設「サイクルセンター」により
新たな楽しさ、学びを創出